

北九州市立小学校 学校長 各位
北九州市立中学校 学校長 各位
北九州市立特別支援学校 学校長 各位

公開質問状：学校給食における放射能対策について

北九州市立の学校の給食における放射能対策について調べている市民です。非常に重要でかつ緊急を要する案件について、下記の通り公開質問させていただきます。新学期が始まる前の夏休み中に確認したく、突然のことで大変失礼かと存じますがご容赦ください。

この書状は北九州市立の小学校全 131 校・中学校全 62 校・特別支援学校全 9 校（以上、総計 202 校）に対し電子メールにて同時送信しております。

○背景

東日本大震災とそれに続いて発生した原発事故の影響により、放射性セシウム等の危険な人工放射性核種で汚染された食材は、農産物（米、麦、野菜、果物など）、畜産物（牛肉、豚肉、鶏肉、卵、牛乳など）、水産物（魚貝類、海藻類など）といったありとあらゆるものに及んでおり、それらが政府の規制を掻い潜って市中に流通し、実際に消費されてしまうという事件が頻発しており、**市中で流通しているものが安全であると言い切れないことは周知の事実となっています。**このため、学校給食に対する保護者からの不安が全国で相次いでいます。

先日、北九州市教育委員会学務部学校保健課より以下の回答をいただきました

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・市中に出回っている食材に放射能汚染はなく安全と認識。・青果に関しては給食便りで産地を表示しているがその他（牛乳・卵・肉その他）について産地表示はしていない。・放射能汚染の心配から産地表示を全品行って欲しいということで代替の食べ物の持参や手弁当などを希望する場合は学校側とよく話し合ってください。・医師の診断書の有無に関わらず、学校給食を強制的に食べさせる指導は行っていません。学校側と話し合ってください。 |
|--|

大変残念ですが、給食における放射能対策に関する市の認識は報道された事実を正しく認識しておらず、市の責任を各学校に丸投げする等、不備があると断じざるを得ません。

一市民として、また小学生の子供の保護者として、この困難な状況下で給食における放射能対策に万全を期していただきたく、公開質問をお願いすることとしました。

この公開質問状およびこれに対するご返信を含む全ての過程は私の個人ブログなど主にインターネット上で公開いたします。

2011 年 8 月 23 日（火）

中村 友一（北九州市若松区在住）

電子メール：t-naka@techpr.jp

携帯電話：090-1197-7367 ファックス：093-691-9312

個人ブログ：<http://techpr.cocolog-nifty.com/nakamura/>

ふくおかの大地と自然を守ろう！わらびの会（共同発信）

代表 白水 弘美（北九州市小倉南区在住）

公式ブログ：<http://fukuoka-warabi.blogspot.com/>

○公開質問

下記の6項目についてご回答いただけませんか。

1. 医師の診断書が無ければ強制的に給食を食べさせる指導を児童に行っていますか？

はい いいえ 各学級の担当教員の判断

その他（具体的にご記入ください）

（ ）

2. 放射能汚染された食品への対策を考えていますか？

はい（具体的にご記入ください）

（ ）

いいえ

3. 保護者が放射能汚染の心配があると判断した場合、弁当持参による代替は可能ですか？

はい（具体的にご記入ください）

（ ）

いいえ

4. 教育委員会及び財団法人北九州市学校給食協会に対し、給食で使用する全食材について産地表示を要望するなどの対応を検討していただけませんか。

はい（具体的にご記入ください）

（ ）

いいえ

5. 保護者が放射能汚染の心配があると判断した場合、保護者が放射線測定器を持ち込んで測定することや測定に必要な給食サンプルを提供するなどの対応は可能でしょうか。

はい（具体的にご記入ください）

（ ）

いいえ

6. その他、本件に対しご意見などございましたらご自由にお書きください。

（ ）

以上、ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、ご検討の上、ご回答ください。